

各 位

2023 年 3 月 23 日

SBI ホールディングス株式会社
株式会社 SBI 新生銀行
SBI インベストメント株式会社
新生企業投資株式会社

プライベートエクイティ事業の中間持株会社設立に関するお知らせ
～国内最大規模のベンチャーキャピタルへ～

SBIホールディングス株式会社（代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝）と株式会社SBI新生銀行（代表取締役社長：川島 克哉、以下「SBI新生銀行」）は、プライベートエクイティ事業の中間持株会社「SBI PEホールディングス株式会社」（以下「SBI PEホールディングス」）を設立することになりましたので、お知らせいたします。

同時に、SBI PEホールディングス傘下に、国内外のベンチャー企業への豊富な投資実績を有するSBIインベストメント株式会社（以下「SBIインベストメント」）および、パートナーとの共同ファンド運営等に強みを持つ新生企業投資株式会社（以下「新生企業投資」）を移し、両社におけるシナジーを徹底的に追求することでSBIグループにおけるプライベートエクイティ事業を一層強化いたします。

SBI インベストメントは年間 2,000 社以上のソーシング実績と 300 社以上のファンド投資家との強固なネットワークを有するとともに、累計 1,000 億円以上の国内最大のコーポレートベンチャーキャピタル（CVC）を運営しています。新生企業投資は、他の銀行系ベンチャーキャピタルとは一線を画す各分野でのパートナー企業との共同ファンドの設立等において多数の実績を有しています。

SBI インベストメントおよび新生企業投資では各分野に特化したプロフェッショナルな人材を豊富に有しており、SBI グループのネットワーク等を活用することで今後両社ではベンチャーキャピタル事業におけるソーシング活動の拡充および CVC 事業の拡大、今後設立予定のファンドの早期設立等を目指すとともに、バイアウト投資事業においては事業承継分野を中心に運用額の拡大を図り、インパクト投資事業においても SBI インベストメントのネットワークを活用し 3 号ファンドの設立に向けてサポートしてまいります。

SBI グループは SBI PE ホールディングスの設立を通じて、グループシナジーによりスタートアップ企業に対しワンストップで投融资ならびに IPO 支援や上場後の財務戦略支援を実行するエコシステムを構築し、企業の各ステージにおける支援体制を強化してまいります。なお、SBI グループのプライベートエクイティ事業における運用資産総額は 4,222 億円（SBI インベストメント：3,307

億円、新生企業投資：915 億円、※2022 年 9 月末時点）となり、国内最大規模のベンチャーキャピタルとなります。

<SBI PE ホールディングスの概要>

商号	SBI PE ホールディングス株式会社
役員体制	代表取締役：北尾 吉孝 取締役：後藤 健（SBI インベストメント 取締役 執行役員副社長） 植坂 謙治（SBI 新生銀行 執行役員）
事業内容	中間持株会社 プライベートエクイティ事業の統括・運営
資本金	100 百万円
設立日	2023 年 5 月 1 日

<SBI インベストメントの概要>

商号	SBI インベストメント株式会社
代表者	北尾 吉孝
事業内容	ベンチャーキャピタルファンド等の運用・管理

<新生企業投資の概要>

商号	新生企業投資株式会社
代表者	松原 一平
事業内容	プライベートエクイティ業務

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126

SBI 新生銀行 グループ IR・広報部

報道機関のみなさま：SBIShinsei_PR@sbishinseibank.co.jp

株主・投資家のみなさま：SBIShinsei_IR@sbishinseibank.co.jp